

永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽらだより**  
令和7年7月発行・第219号  
認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
TEL:0952-31-6877



## 7月と8月の「子育て支援事業」のお知らせ

### ① 実施日

- ・7月2日(水)…東与賀よかよかサークル
- ・7月14日(月)…赤ちゃんの日 (水遊び)(先着10組)
- ・7月15日(火)…育児講座(トイトレーニング)(先着6組)
- ・7月16日(水)・17日(木)・18日(金)・28日(月)  
…フリーデイ(水遊びコーナーあります)
- ・7月24日(木)ベビーマッサージ講座(先着5組)
- ・8月18日(月)・19日(火)・25日(月)…フリーデイ  
(水遊びコーナーあります)
- ・8月28日(木)…若楠にこにこサークル

※フリーデイは事前のご予約はいりません。

### ②時間:10時~12時

### ③開催場所:子育て支援センター・運動場

### ④駐車場:三光保育園駐車場

※三光幼稚園の駐車場と間違わないようお願いします。  
くすくすパン屋さんとファミリークリニックの間の道を南側に入  
って頂くと、左手に三光保育園があります。

### ⑤申し込み方法:電話予約

**7月分の申し込みは、7/1~9時半~17時です。**

**8月分の申し込みは、8/1~9時半~17時です。**

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お  
出かけの前に必ず、ホームページで**支援事業の有無をチェ  
ックしてください。子育て支援のラインアカウントがあります  
ので、ライン登録をしていただくのが、一番お勧めです。**



## ♪食育講座のお知らせ♪

親子クッキング教室を行います。

対象年齢:3歳以上~小学生低学年

両日ともに、先着10組とさせていただきます。

日時:① 8月5日(火)・② 8月6日(水)

時間:10:00~13:00

内容:5日:「親子で夏野菜たっぷりピザトースト  
を作ろう」

メニュー:ピザトースト、トロピカルスムージー

6日:「親子で簡単パンづくり」

メニュー:創作パン(3種)、まろやかコーンスープ

※詳しくは、7月8日にさんこうぽぽらのHPでお手紙  
をアップします。ご覧いただきお申込み下さい。

## 子ども達に伝えたい日本の行事

もうすぐ梅雨も明けそうですね。いよいよ本格的  
な夏の到来です。園では、子ども達が七夕に使う  
願い事を書いた短冊や折り紙を使って飾り作りを  
しています。4日は祖父母の方やシニアサロン集う  
方々も参加して七夕行事を楽しみますので、大張り  
切りです。おじいちゃんやおばあちゃんに自分の願  
い事の発表をしたり、みんなの発表を聞いたりと毎  
年和やかに時間が過ぎていきます。そんな中で、祖  
父母の方から七夕の伝説や七夕に関する佐賀の風  
習なども教えて頂くこともあり、保育者も大変勉強  
になっています。コロナ禍が明けて、交流の場が再  
開したことに感謝しながら、日本の伝統行事につ  
いて楽しく、そして正しく伝えていきたいと感じるこ  
の頃です。

ぽぽらでは、そんな由来にまつわるエピソードも  
聞くことができますので、ぜひご参加下さい。

猛暑到来!どうぞ熱中症に気を付けてお過ごし  
下さいね。



## ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け  
付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九州大学短期  
大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話  
でお申し込みの上、ご利用下さい。

**(受付時間:平日の9:30~17:00まで)**

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯につ  
いて

【開園日】〇月~金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】〇9:00~12:30、13:30~16:00

※12:30~13:30 昼休み・準備の為閉園

【お知らせ】

※熱中症指数が高い場合は、安全上中止します。

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

## 「シニアサロンぽぽら」



子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回  
地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。

**日時: 7月4日(金)七夕会、たんば組交流**

**8月21日(木)たけ組・きく組交流**

子育て便り

「子どもの感性や気持ち」

西九州大学 子ども学部心理カウンセリング学科 教授 安藤満代

4月某日、幼稚園に通うAちゃんを預かって、一緒に遊ぶという経験をしました。やや活発で、発達障がい傾向を若干持っているかもしれない子どもでした。歩いていると、小さなこいのぼりがある家の庭で風に揺られていました。Aちゃんは、それを見て、「あのこいのぼり小さいね。今から大きくなって空で泳ぐかな？」と言われ、「はあ？」と私は思いましたが、子どもの感性って豊かだなと思いました。その後、コンビニでお弁当を買うとき、Aちゃんは嬉しくて、自分で歌って、踊っていました。店員さんも、最初は驚いていましたが、あとからニツコリしました。なかなか普通は、コンビニで踊る光景は見ないので、Aちゃんは出かける嬉しさを体で表現しているように見えました。それから地下鉄に乗って広い公園に到着しました。そこには大きな池があり、ボートがありました。Aちゃんは「乗りたい、乗りたい」と言っていたのですが、母親の了解もなく、乗せるのもと考え、「お母さんに聞いて、今度乗ろうよ」と言って、遊具のところに行き、元気よく遊んでいました。

砂場で遊んでいる時、白い小さな貝殻を見つけ、「貝殻を見つけたよー」と見せてくれました。私ならまったくそのような小さな貝殻を見ることはなかったけれど、Aちゃんには、それが目を引くものとして映るのだろうと感性の違いを感じました。そして、帰る準備の時間になり、「Aちゃん、帰ろう」というと「帰らない」と言って、遊具から降りてきませんでした。しばらく押し問答して、やっと降りてきました。そこで再び、「ボートに乗りたい」と言い始め、公園内の道路に寝そべって、大声で泣きました。その日は、多くの親子連れやお客さんがいて、私は、若干恥ずかしい気もしていました。母親が待っている時間に近づくので、「Aちゃん、今度ボートに乗ろう。そのまま寝て泣いていたら、置いていくよ」という素振りをし、置いて歩いてみましたが、Aちゃんは後を追ってこようとせず、じっと寝て、空を見ていました。そこで私は仕方なく、あまり推奨できないかもしれませんが、「かき氷買ってたべようか」というと、少し気を取り直して、帰ることに同意してくれました。Aちゃんとこれからも時々会うかもしれないので、子どもの感性や気持ちを改めて理解する機会になりそうでした。